

# 医学総合研究特論 I・II

## 授業概要

医学研究を行うための形態・機能・生態学的な各分野にわたる基礎的な方法論の理論と実際、有用性と限界、ならびに実際の研究におけるその組み立て方などについて前半の特論 I においてオムニバス形式で学ぶ。後半の特論 II においては、これらの方法論を応用した実際の研究の実例として、学内外の専門研究者による特論をオムニバス形式で学ぶ。

## 担当教員

### 医学総合研究特論 I

塩田直孝 准教授・薬理学  
松本健一 教授・総合科学研究支援センター R I・動物実験部門  
橋本道男 准教授・環境生理学  
山中章弘 教授・名古屋大学環境医学研究所神経系分野  
嘉数直樹 准教授・環境予防医学  
原 伸正 講師・代謝生化学  
原嶋奈々江 助教・免疫学  
浦野 健 教授・病態生化学

### 医学総合研究特論 II

梶 博史 主任教授・近畿大学医学部再生機能医学講座  
山口 徹 准教授・内科学第一  
矢野彰三 准教授・臨床検査医学  
竹下治男 教授・法医学  
内尾祐司 教授・整形外科学  
椎名浩昭 教授・泌尿器科学  
丸山理留敬 教授・器官病理学

## 成績評価法

出席状況および参加態度から総合的に評価する。

## 参考文献

適宜、項目ごとに適宜関連文献や論文を示す。

【講義時間】 火曜日 18:00～19:30

【講義室】 基礎研究棟 6階セミナー室

(医学総合研究特論Ⅰ)

回	年月日	授業内容	担当教員
1	H26. 5. 13	動物モデルを用いた病態生理学的解析の実践	塩田 直孝
2	H26. 5. 20	プロテオミクス解析を用いた生命科学研究	松本 健一
3	H26. 5. 27	実験動物の行動解析とその医療への応用	橋本 道男
4	H26. 6. 3	光遺伝学、薬理遺伝学を用いた特定神経活動操作による行動発現機構解析	名古屋大学 山中 章弘
5	H26. 6. 10	FISH 技術のゲノムサイエンスへの展開	嘉数 直樹
6	H26. 6. 17	組み換えタンパク質発現	原 伸正
7	H26. 6. 24	研究者の倫理、英語論文作成および科研費申請の心得	浦野 健
8	H26. 7. 1	フローサイトメトリーで可能な解析	原嶋奈々江

(医学総合研究特論Ⅱ)

回	年月日	授業内容	担当教員
1	H26. 10. 7	骨代謝・再生における組織線溶系の 新しい役割	近畿大学 梶 博史
2	H26. 10. 21	生活習慣病と骨折リスク	山口 徹
3	H26. 10. 28	腎不全、糖尿病、加齢と血管障害 ～石灰化 のメカニズムに迫る～	矢野 彰三
4	<b>H26. 11. 10</b>	疾患感受性遺伝子 DNase family における臨床応用	竹下 治男
5	H26. 11. 18	運動器におけるバイオロジーとバイオメカニクス	内尾 祐司
6	H26. 11. 25	泌尿器がんの診断と治療	椎名 浩昭
7	H26. 12. 2	島根バイオバンク設立へ向けてのパイロットスタディ	丸山理留敬